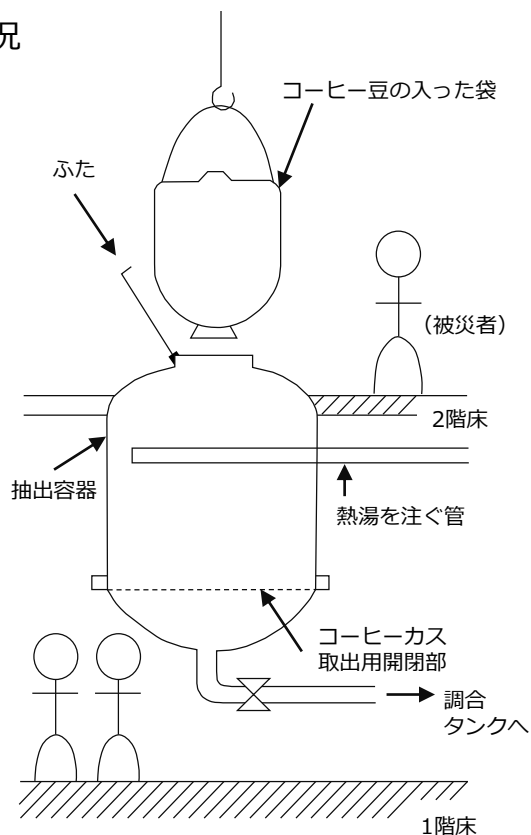


コーヒー豆から発生した一酸化炭素による中毒

災害発生状況



【発生場所】

缶入飲料等の製造工場の缶コーヒー製造ラインに設置されているコーヒー原液を抽出する容器内部。

【被災原因】

ばい煎コーヒー豆を入れた抽出容器に、熱湯を注ぎコーヒー原液を抽出する際に、ばい煎コーヒー豆に吸着していた一酸化炭素が一気に脱着して密閉状態の抽出容器に滞留。容器内に落としたコーヒー豆を均一にならす棒を、抽出後に拾おうとして被災。

【被災状況】

被災者がコーヒー豆の残りカスを排出作業時に被災し、容器内で転倒。被災者は、抽出容器から救出された時点ですでに意識不明となっており、病院での診断の結果、一酸化炭素中毒であることが判明し、約1カ月後に死亡。

【対策】からの抜粋

[2] コーヒー抽出容器には確実な換気が行われるまでは立ち入らない事



～理研計器からのご提案～

一酸化炭素は無味無臭のガスです。確実な換気の確認に、ガス濃度の測定が有効です。

また、抽出容器からの漏洩等、作業中の一酸化炭素中毒予防には携帯式一酸化炭素モニターの使用をお勧めいたします。